



レポート番号：#817

Autonomous
Vehicles

自車位置推定および地図ベース ADAS

ADAS機能とソリューションのアクセシビリティと全体的なユーザー・エクスペリエンスの向上を目指し、さまざまな地域のOEMが地図と自車位置推定情報を他の車載センサに重ね合わせています。このプロセスの利点として、エンドユーザーおよびOEMにとって、既存のシステムを最適化できること、より洗練されたシステム機能を提供できる点があります。

しかし、自車位置推定ソリューションが普及し始めた今、自動車メーカーがそれらを検討する際には、その可能性を安全かつ十分に理解することが不可欠です。このようなソリューションの開発スピードを考慮すると、これは特に重要であり、多くの場合、小規模なエリアから着手し、その後、都市全体、あるいは州全体のオペレーションへと急速に規模を拡大していきます。

本書「自車位置推定および地図ベースADAS」は、OEMによってすでに使用されている主要技術と、それが可能にするさまざまなユースケースについて概説しています。また、これらの技術の現在のエコシステムを分析するだけでなく、ADAS向けの地図と自車位置推定システムの採用について、今後5年から10年間の見通しも示しています。これらのソリューションの広範な範囲を反映し、OEMの課題とイノベーションの目標に対処するために、さまざまなユースケースでどのように実装されているかを解説しています。

目次

はじめに

要旨：自車位置推定および地図ベースADASを導入する動機および懸念事項の評価

自車位置推定および地図の概要：基本事項の紹介

課題：OEMおよび地図プロバイダーが直面している課題について概説

目標：OEMおよびTier 1が自車位置推定システムの開発時に設定できる目標の一覧

技術：自車位置推定に利用できる技術を解説

OEMおよびTier1のケーススタディ：一連のケーススタディを紹介

分析：OEMが自車位置推定システムの仕様を決定する際に重要となる事項の分析

将来の展望：今後5～10年間の地図および自車位置推定についての展望と洞察

地図プロバイダーのプロファイル

次のステップ

用語解説

関連レポート

レベル4自動運転将来予測

レポート番号：815

世界各国においてモビリティサービスは、レベル4自動運転による大きな恩恵を受けると見られています。しかし、サービス事業者は様々な法的、技術的、商業的な課題を解決しなければなりません。本レポートはセグメント別/地域別での自動運転車およびL4サービスの成長についてデータに基づく予測と包括的な洞察を提供します。また同市場における収益性についても詳説し、L4自動運転戦略の構築をサポートします。

対象市場

欧州 米国 中国
日本 グローバル その他

レポート発行頻度

 毎年更新  半年更新  四半期更新  毎月更新  1
ワンタイム

レポート形態

 PDF  PowerPoint  Excel  Online

ページ数

 112

本書について（調査対象・範囲）

本書では下記について解説しています。

- > 自車位置推定および地図ベースADASを誰が、どのようなパートナーと共に実装しているか？
- > 自車位置推定システムとデジタル地図の自動車における主なユースケースとは？
- > 自車位置推定システムを実現するための技術的なイネーブラーとは？

SBDカスタマーポータル

ご契約いただいたレポートへはお客様専用ポータルサイトからアクセスいただけます。

ポータルサイトのアカウントはご契約企業ごとに作成され、ご契約企業に所属する方であれば登録ユーザー数に制限はございません。

ご契約状況の確認や、ポータルサイトへ新規ユーザー登録をご希望の場合は、SBD Automotive ジャパンまでお問い合わせください。



本書に関するお問合せ・お見積り依頼

「自車位置推定および地図ベースADAS」

お問合せ・お見積り依頼



サンプルレポートの無料ダウンロード

